

つゆのひ

空野閑人

キャンバスを染める覚悟も 決められず 青にも赤にもなれない紫
陽花

低気圧が苦手な人には申し訳ないが、私は雨の日が好きだ。だから、
天泣に狐も嫁入る六月が好きだ。

雨ふりの日に出現する相合傘のカップル。

すこし賑わう図書館。

どろんこの子ども。

お気に入りの傘をるるん気分で用意する朝。

停電に驚くと同時に、その仄暗さにすこしわくわくした昼下がりに。

ちよこつとできた水たまりが描写する茜雲を見ながら家路につく。

日常的非日常のひとつ、雨の日を楽しんでみませんか。

まちわびた ぼつりあめのひ そとにでて 頭上を覆う 水玉模様

なりきった 記憶の中の あの勇者 チャンバラごっこ 雨の放課後

雨宿り 避難所と化す 図書室で はじめて見つけた 読書顔の君

長靴と傘で隙なく 武装して 雨水したたる 梅雨を着こなす

顔背け 「雨、やまないね」 呟いた 沈黙5秒 「……先に言われた」

君がため 濡らす肩口 帰り道 仲人の雨爪弾く傘
変わりどき きたる夏の日 垣間みる はなむけの虹 日傘かしげて